

Call for Panellists !!

～世界の日本語学習者の登竜門～

2012年“平和 — 絆でつなぐ地球 — ” 日本語サミット(第14回)

Let's Discuss“Peace - Kizuna for One World”Together in Japanese in Japan

代表パネリスト (15～27歳) 募集のお知らせ

特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム 企画主催



日本語サミットとは？

ジャパン・リターン・プログラム (JRP) は、毎年、世界の日本語を修得している青少年をパネリストとして選抜・招聘する「日本語サミット」を開催しております。35日間のプログラム期間中、日本の高校生・大学生との意見交換や、ホームステイ、日本の伝統文化体験等のプログラムのほか、今、自分たちが平和のためにできることを、「日本語で」意見発信し、パネルディスカッションをします。

この度日本で起きた、東日本大震災に対して、世界中から、温かい励ましやメッセージをいただき、ありがとうございます。今、日本は一つになり、一步步前へ進んでいます。世界中からの応援を受け、JRPは、2012年度も、日本語サミットを開催致します。

2012年度のテーマは、『平和 — 絆でつなぐ地球 — 』です。世界の同世代の若者と35日間を共にしながら、「日本語」で地球規模の課題や平和について語り合いたい！という意欲のある学生の皆さまからのご応募をぜひ、お待ちしております！



左：2010年 東京日本語サミット
@日経ホール
コーディネーター/池上 彰氏

下：2010年 福岡日本語サミット
@エルガーホール (福岡・天神)



2010年日本語サミットパネリスト 13名

I. 日本語サミット日程 (予定)

◆ 期間 : 2012年7月中旬～8月下旬 (35日間)

◆ 開催場所 : 東京・地方都市一か所

※日程詳細は、2012年1月末パネリスト決定後に発表(予定)。日程は事情により変わることがあります。

II. 募集対象者

◆ 日本語サミットの趣旨・開催目的 (HP参照のこと) を理解し、日本語で意見の発信ができる者。

◆ ジュニア・シニアの部合わせて **1ヶ国1名、計13カ国～15ヶ国** 招聘予定

【応募資格】

(1) ジュニアの部 年齢15才～19才

- ① 来日時時点で高校・大学在学者、またはそれに準ずる日本語教育機関に在籍している学生(在籍証明書が取得でき、学校・教育機関の日本語指導教官がいること)
- ② 年齢15才～19才(2012年6月30日時点で15才～19才までの男女)
- ③ 両親が日本人(日本国籍)ではない者(片方の親が日本国籍所有者の場合は応募可能です。)
- ④ 日本語サミット開催直前に来日予定のない者
- ⑤ 規定の作文課題を漢字かな混じり文にて書くことができ、且つそれを議論できる口頭能力を有する者(日本語能力試験3級レベルが目安)
- ⑥ 上記日程全てに参加できる者(来日・帰国日は事務局の指定になります。自国での試験日程などと重ならないよう注意すること。また航空便の状況によりサミット日程と来日・帰国日は異なることがあるため、サミット日程の前後は余裕を持たせること。)
- ⑦ サミット期間中日本語で会話し、日誌を書くことができる者、またその体力・精神力のある者
- ⑧ 「日本語ブラッシュアップ、及び日本へのより深い理解」という本プログラムの目的を理解し、規則を遵守できる者
- ⑨ 参加終了後も“運営委員”、“オールドパネリスト(OP)”としてJRPネットワーク構築に寄与できる者

(2) シニアの部 年齢20才～27才

- ①来日時点で大学・大学院在籍者、またはそれに準ずる日本語教育機関に在籍している学生(在籍証明書が取得でき、学校・教育機関の日本語指導教官がいること)
- ②年齢20才～27才(2012年6月30日時点で27才までの男女)
- ③～⑨はジュニアの部と共通

※その他、応募資格の面など不明な点がある場合は必ず事務局にご相談ください。

Ⅲ. 参加費用 (ジュニア・シニアの部とも共通)

【以下の参加費用はJRP負担】

- ①国際線往復渡航費用 (事務局指定の離発着主要都市から日本まで)
- ②当法人作成スケジュール内の国内線航空費用
- ③公式日程中の参加経費・滞在ホームステイ費用 (朝夕食含む)

【自己負担費用】

- ①自宅から事務局が指定した国際線発着空港までの交通費
- ②全参加者、参加費用3万円(来日時空港にて徴収)。その他に自由日程時諸費用・昼食代・通院治療費・国際電話代・ホームステイ先から日程会場までの交通費(往復700円を超える場合は、差額分を補助します。
※ただし、地方でのホストファミリー滞在中の交通費に限る)・写真現像代等の費用として3～5万円程度。お土産など買いたい場合は、それ以上にかかるので余裕をもってのこと。
- ③海外旅行保険(疾病・事故全般に対応するもの)は自国で事前に自己負担で加入していただくこと(病気・事故は基本的に自己責任においての管理が求められます)
- ④来日ビザ・飛行機乗り継ぎ地トランジットビザ申請にかかる費用(国により申請が必要)
※国によっては奨学金支給が可能となる場合があります。奨学金については、個別にご相談に応じます。自己負担金のごことで応募を躊躇する場合にも事務局にご相談ください。

Ⅳ. 応募方法 <課題と締め切り> ★応募の際は事前にJRP事務局にメール(jrp@bna.co.jp)にてお知らせください。

(1) ジュニアの部

1. 一次選考課題と提出物：一次選考締切日：2011年10月31日(月) 事務局郵送必着

- ①『平和 一絆でつなく地球一』というテーマで書いた日本語による【自筆】作文
 - ◆字数は400字詰め原稿用紙4枚程度(1600字～2000字)とすること。
 - ◆自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。
 - ◆引用をする場合には出典を明記すること。
 - ◆参考文献がある場合も、提示すること。
- ②JRP指定の応募用紙(事務局に問い合わせるか、JRPのホームページからダウンロードできます。来日経験、来日予定のない者は、「A応募用紙」、来日経験者あるいは2012年6月までに来日予定のある者は「B応募用紙」に記入)
 - ◆代筆は認めません。必ず本人による手書きとすること。
- ③自己紹介文(400字～600字程度・自筆)
- ④現在使っている日本語の教科書のコピー数枚(表紙と、現在勉強している箇所のページ)
- ⑤証明写真3枚(縦5cm×横4cm)と家族全員の写真1枚、友人との写真などそちらでの生活が分かるもの2枚(裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと)

★①～③はFAXまたはメール添付にて事前送付してください。

2. 一次選考結果発表：2011年11月18日(金) 予定

3. 二次選考：二次選考締切日：2011年12月9日(金) 事務局郵送必着

- ◆一次選考で入選した作文要旨をプレゼンテーションしている画像・音声をビデオテープ(VHS、Mini DVまたはCD-R)に3分以内に程度収録し、上記期日までに提出。(3ページの【画像・音声の提出に関する注意事項】を必ず参照すること。
- ◆日本語応募作文を指導した担当教師の方にご記入いただく「応募者の日本語レベル」についての質問表があるので、プレゼンテーションビデオに同封すること
- ◆電話によるインタビューテストを行う可能性もあります。

4. 最終審査(専任選考委員による審査)：2012年1月初旬予定

5. パネリスト発表：2012年1月末予定

(2) シニアの部

1. 一次選考課題と提出物：一次選考締切日：2011年10月31日（月）事務局郵送必着

- ①『平和 一絆でつなぐ地球』というテーマで書いた日本語による【自筆】作文
 - ◆字数は400字詰め原稿用紙5枚程度（2000字～2400字）とすること。
 - ◆自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。
 - ◆引用をする場合には出典を明記すること。
 - ◆参考文献がある場合も、提示すること。
 - ②JRP指定の応募用紙（事務局に問い合わせるか、JRPのホームページからダウンロードできます。来日経験、来日予定のない者は「A応募用紙」、来日経験者あるいは2012年6月までに来日予定のある者は「B応募用紙」に記入）
 - ◆代筆は認めません。必ず本人による手書きとすること。
 - ③自己紹介文（400字～600字程度・自筆）
 - ④現在使っている日本語の教科書のコピー数枚（表紙と、現在勉強している箇所のページ）
 - ⑤証明写真3枚（縦5cm×横4cm）と家族全員の写真1枚、友人との写真など、そちらでの生活が分かるもの2枚（裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと）
- ★①～③はFAXまたはメール添付にて事前に送付してください。

2. 一次選考結果発表：2011年11月18日（金）予定

3. 二次選考：二次選考締切日：2011年12月9日（金）事務局郵送必着

- ◆一次選考で入選した作文要旨をプレゼンテーションしている画像・音声をビデオテープ(VHS、Mini DVまたはCD-R)に3分以内に収録し、上記期日までに提出。（3ページの【画像・音声の提出に関する注意事項】を必ず参照すること。
- ◆日本語応募作文を指導した担当教師の方にご記入いただく「応募者の日本語レベル」についての質問表があるので、プレゼンテーションビデオに同封すること
- ◆電話によるインタビューテストを行う可能性もあります。

4. 最終審査(専任選考委員による審査)：2012年1月初旬予定

5. パネリスト発表：2012年1月末予定

【画像・音声の提出に関する注意事項】

- ① 口頭能力を測るためのものですので、原稿を見ながら読み上げたりしないこと
- ② 自己紹介を多少入れ、提出した作文の中で一番言いたいことをまとめてプレゼンテーションすること
- ③ 音声は画像と同時録音すること（音声を後付けするなどの編集をしないこと）
- ④ 送る前に必ず映っていること・音声が明確に聞き取れることを確認すること
- ⑤ 郵送の前に自分用にコピーをとっておくこと
- ⑥ ビデオ（DVD-R/Mini DV/CD-Rなど）を送るときは壊れてしまわないようにきちんと包装して送ること
- ⑦ 諸事情により、ビデオ・DVD-R・Mini DV・CD-R以外の方法で送ることをご希望される場合は、事前に事務局に連絡すること

※ 提出書類に記載されている個人情報、選考のためのみに使用しそれ以外の用途には一切使用致しません。尚、応募書類の返却はできかねます。ご了承ください。

V. 応募に際しての注意事項

- ① 応募後に急遽来日するなど条件が変更になった方は、速やかに事務局に連絡してください
- ② 日本語サミットと同時期に日本で行われる招聘プログラムに重複しての応募や、日本語サミット期間前に日本への留学を予定している方、及び留学手続きをしている方はご遠慮ください
- ③ 友人や教師に作文指導やアドバイスを受けたときは、正直に申告してください
- ④ 「応募作文は必ず自分の考えを自分の力で書く」という約束が守られなかった場合は、招待にかかる費用全額が請求され、当該国からの招待も凍結という処置がとられます
- ⑤ 滞在中は、日本の政財界リーダーとの面会や国会議員との懇談会、マスコミの取材などが予定されますので、自国の代表にふさわしいマナーや行動が要求されます。表敬訪問・日本伝統文化体験では滞在中、フォーマルな服装が必要です
- ⑥ 日程など随時変更する可能性がありますので、必ずホームページで確認してください
- ⑦ 参加するための経済的負担があることをご承知ください

- 共催：日本経済新聞社
- 後援(予定)：外務省・文化庁・国際協力機構(JICA)・日本放送協会(NHK)・東京都

<主催・お問い合わせ先> 特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム（JRP）事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8赤坂二丁目アネックス4F
Tel 81-3-3589-3587 Fax 81-3-3589-3573 E-mail : jrp@bna.co.jp
<http://www.nihongo.or.jp/>

Call for Panellists !!

~A Gateway for World Scholars of the Japanese Language~

2012 “Peace - Kizuna for One World”

14th Nihongo Summit

Let's Discuss “Peace - Kizuna for One World” Together “Together in Japanese in Japan

Call for Panellists (age: 15 to 27)!!

Organised and sponsored by the Japan Return Programme, NPO



The Japan Return Programme (JRP), NPO organises the Nihongo Summit by selecting and inviting panellists from among the foreign youth throughout the world who have studied Japanese. During a 35 day stay in Japan, they will present their opinions in Japanese concerning what they can do for world peace through panel discussions at the Nihongo Summit, in addition to various programmes including interchanges with Japanese students, homestays, and experience of Japanese traditional culture.

We are very grateful to people throughout the world for their warm and encouraging messages concerning the East Japan Great Earthquake. Now, Japan will unite and advance step by step. Thanks to such support from our world friends, the JRP is committed to holding the Nihongo Summit in 2012 as scheduled.

The theme for the Summit in 2012 is “Peace - Kizuna for One World”. We strongly encourage enthusiastic young people who are willing to discuss global issues and peace in Japanese, while sharing experiences with youth of the same generation for 35 days, to apply as panellists of the Nihongo Summit.



● coordinated by Akira Ikegami, journalist

What is Nihongo Summit?



● 2010 Fukuoka Nihongo Summit



● 13Panellists (2010 Nihongo Summit)

I . Duration/Schedule (planned)

From mid-July to late August of 2012 (35 days) in Tokyo and one other city.

*The above schedule is subject to change. The final detailed itinerary will be announced at the end of January 2012 following selection of the panellists.

II . Panellist Qualifications

The panellists shall be those who understand and agree with the objectives of the Nihongo Summit (see our website), are capable of presenting their opinions in Japanese, and meet the following qualifications. One panellist per country will be selected for both the Junior and Senior Categories, from a total of 13 to 15 countries.

[Junior Category] Age: 15 to 19

- 1) Senior high school/university/college students (as of the date of arrival in Japan), or students enrolled at a Japanese language school equivalent to the former (which provides a dedicated instructor from a Japanese language school and can issue a certificate of enrollment).
- 2) Those whose ages are 15 to 19 as of 30th June 2012.
- 3) Those whose parents are not both Japanese.
- 4) Those who have no plan to visit Japan immediately prior to the Nihongo Summit.
- 5) Those who have sufficient knowledge of Japanese to write the assigned essay in kanji and kana, and to participate in oral discussion with ability equivalent to the third grade of the Japanese Proficiency Test.

- 6) Those who are able to participate in the entire schedule above. (No change is accepted in the arrival and departure dates specified by the Secretariat. Therefore please make sure that you have no examination dates in your country during the above schedule, and allow sufficient time before and after the schedule in anticipation of possible flight changes)
- 7) Those who are both mentally and physically healthy enough to participate in the full schedule in Japanese and keep a daily log.
- 8) Those who understand the objectives of the JRP, which are to improve their Japanese and deepen their understanding of Japan, while observing the rules of the JRP.
- 9) Those who are able to contribute to the creation of an overseas JRP network as an assisting member or old panellist, following their participation.

[Senior Category] Age: 20 to 27

- 1) University/college or postgraduate students (as of the date of arrival in Japan), or students who are enrolled at a Japanese language school equivalent to the former (which provides a dedicated instructor from a Japanese language school and can issue a certificate of enrollment).
- 2) Those whose ages are 20 to 27 as of 30th June 2012.
- 3) to 9) Same as the Junior Category

*Please be sure to contact the JRP Secretariat, if you have any questions concerning the qualification requirements

III. Expenses (common to both Junior/Senior Categories)

[Expenses born by the JRP Executive Committee]

- 1) Return airfare between the international airport (designated by the Secretariat) of the panellist's country and Japan.
- 2) Airfare within Japan during the period of the schedule made by the Secretariat.
- 3) Expenses for participation in official events and for the home-stay (including breakfast and dinner)

[Expenses born by the panellist]

- 1) Travel expenses from the panellist's residence to the international airport (designated by the Secretariat).
- 2) A participation fee of ¥30,000, which will be collected by the JRP Secretariat upon the panellist's arrival. In addition, approx. ¥30,000 ~ ¥ 50,000 to cover various additional expenses, required by the panellist during his/her free time, as well as lunches, medical fees, international telephone calls, transportation expenses from the home-stay location to a scheduled programme venue (if round-trip exceeds ¥700, additional cost to the ¥700 will be paid to the panellist; however, this is limited to the transportation expenses in regions other than Tokyo) and personal photo developing etc. Fees to purchase souvenirs are not included.
- 3) Traveller's insurance (for sickness and accident) shall be bought prior to departure from the panellist's home country at their own expense. Care regarding sickness and accident should in principle be the responsibility of panellists.
- 4) Expenses for visa application for a visit to Japan and/or for transit (when required).

*A scholarship may be provided depending on the country you are from. Please consult the Secretariat if you are hesitating to apply for the programme because of the expenses to be borne by the panellist.

IV. Application Procedures: Assigned Essay and Deadline

Please be sure to inform the Secretariat by e-mail (jrp@bna.co.jp) prior to your application.

[Junior Category]

1. 1st Selection: Assigned essay and other required materials

The following must be received by the Secretariat no later than: 31st October 2011

- 1) Assigned essay in Japanese, based on the theme "Peace - Kizuna for One World", in your own handwriting.
 - Length: 1,600 to 2,000 characters
 - Express your opinions and ideas based on your experiences.
 - Specify sources of citations, if any.
 - Indicate references, if any.

2) Use the application form specified by JRP [Form A (for those who have never visited Japan) or Form B (for those who have previously visited Japan or plan to visit before June 2012)]. Please download the form from our website or request it from the Secretariat.

- The application should be completed in your own handwriting.

3) Your self-introduction in your own handwriting (approx. 400 to 600 characters)

4) Copy of a few pages of the Japanese language textbook which you are currently using (the cover, and the page(s) you are now studying).

5) Six photographs [three copies of your full-face photo (5 cm x 4 cm), one with all of your family members and two snapshots of you in your home environment e.g. with friends]. Indicate on the back of each photograph the occasion and with whom it was taken.)

***Please send 1) to 3) by fax or e-mail attachment first.**

2. Announcement of the 1st selection results:

18th November 2011 (planned)

3. 2nd Selection:

The following must be received by the Secretariat no later than: 9th December 2011

1) A three-minute summary of your presentation of the essay, which has passed the 1st selection, with sound and images using videotape (VHS), Mini DV or CDR format.

(*See the notes concerning audio/visual material submission, below.)

2) A question/answer sheet regarding your "Japanese language proficiency level" to be filled out by the instructor who has provided you with assistance in writing an essay in Japanese. Send this together with the above.

* There might be cases in which an interview is conducted by telephone.

4. Final Selection by Special Committee Members:

Beginning of January 2012 (planned)

5. Announcement of the names of panellists:

End of January 2012 (planned)

[Senior Category]

1. 1st Selection: Assigned essay and other required materials

The following must be received by the Secretariat no later than: 31st October 2011

1) Assigned essay in Japanese, based on the theme "Peace - Kizuna for One World", in your own handwriting.

- Length: 2,000 to 2,400 characters

- Express your opinions and ideas based on your experiences.

- Specify sources of citations, if any.

- Indicate references, if any.

2) Your self-introduction (approx. 400 to 600 characters in your own handwriting)

3) Use the application form specified by JRP [Form A (for those who have never visited Japan) or Form B (for those who have previously visited Japan or plan to visit before June 2012)]. Please download the form from our website or request it from the Secretariat.

- The application should be completed in your own handwriting.

4) Copy of a few pages of the Japanese language textbook which you are currently using (the cover, and the page(s) you are now studying).

6) Six photographs [three copies of your full-face photo (5 cm x 4 cm), one with all of your family members and two snapshots of you in your home environment e.g. with friends]. Indicate on the back of each photograph the occasion and with whom it was taken.)

***Please send 1) to 3) by fax or e-mail attachment first.**

2. Announcement of the 1st selection results:

18th November 2011 (planned)

3. 2nd Selection:

The following must be received by the Secretariat no later than: 9th December 2011

1) A three-minute summary of your presentation of the essay, which has passed the 1st selection, with sound and images using videotape (VHS), Mini DV or CDR format.

(*See the notes concerning audio/visual material submission, below.)

2) A question/answer sheet regarding your "Japanese language proficiency level" to be filled out by the instructor who has provided you with assistance in writing an essay in Japanese. Send this together with the above.

* There might be cases in which an interview is conducted by telephone.

4. Final Selection by Special Committee Members:

Beginning of January 2012 (planned)

5. Announcement of the names of panellists:

End of January 2012 (planned)

*All dates mentioned above may change, so please visit our website occasionally to confirm.

[Notes concerning audio/visual material submission]

◆Do not read from a written manuscript as the video is meant to test the proficiency of the applicant's spoken Japanese.

◆ Sound should be recorded simultaneously with images. (No editing or post-synchronizing with the image is allowed.)

◆Make an oral presentation, not recitation, as naturally as possible.

Include a self-introduction.

◆Make sure that the image and sound qualities are good before sending.

◆Make a duplicate tape for yourself before sending.

*Your personal information stated in the submitted materials shall be used for the selection only.

V. Notes upon Application

1. Please inform the Secretariat promptly of any changes regarding your application conditions which occur after the application, e.g. a sudden visit to Japan.

2. Please be aware that those who apply for any other activities taking place in Japan during the same period as the Nihongo Summit, and/or those who plan or are under application to study in Japan immediately before the Nihongo Summit, do not qualify.

3. Please do not fail to inform the Secretariat if a friend or your instructor helped you to write the essay.

4. In the case that an applicant fails to abide by the rule that they must write their essay based on their own idea and handwriting, all expenses incurred in the invitations will be charged to them, and invitations to their countries will not be considered in the future.

5. Panellists are expected to practise proper manners and behaviour as representatives of their countries during the Programme, as many events are planned including meetings with Japanese political and business leaders, government officials and Diet members, as well as media interviews. Formal wear will be required for courtesy visits and other Japanese traditional cultural events.

6. Please confirm with our website concerning possible changes in the schedule.

7. Please be aware that the panellist will have to bear some expenses for participation.

● Co-Organiser : Nihon Keizai Shimbun, Inc.

● Supporters/Sponsors (tentative) : Ministry of Foreign Affairs, Agency of Cultural Affairs, Japan International Cooperation Agency, NHK Japan Broadcasting Corporation, Tokyo Metropolitan Government, etc.

<Organiser/Contact>

The Japan Return Programme (JRP), NPO

Akasaka 2-Chome Annex 4F, 2-19-8, Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 JAPAN

Tel: +81-3-3589-3587 Fax: +81-3-3589-3573

E-mail: jrp@bna.co.jp <http://www.nihongo.or.jp>